

# しょうわ 議会だより

第27号

平成15年

10月25日

9月定例議会



▲第36回村民運動会から

## おもな内容

**平成14年度決算認定** (2~3ページ)

**9月定例会で決めたこと** (4~6ページ)

**特別委員会のうごき** (8~9ページ)

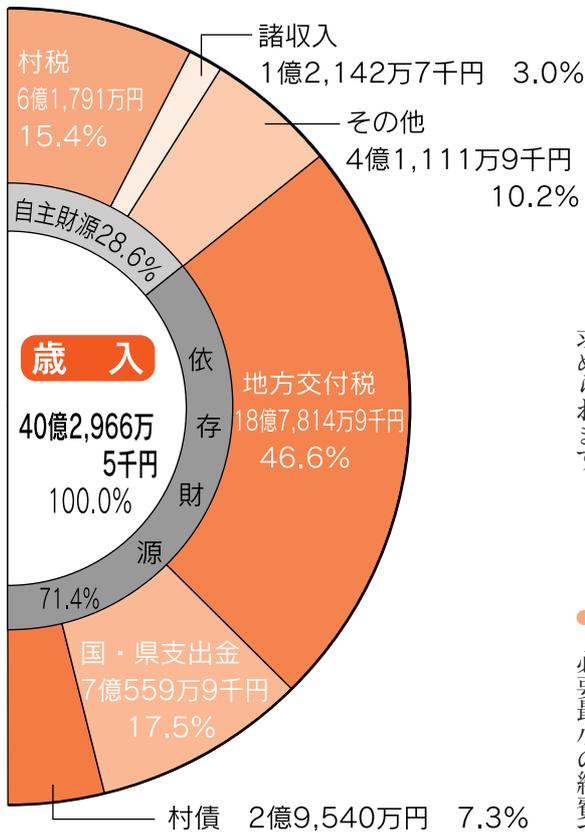
**一般質問 村の姿勢を問う** (10~11ページ)

**読者シリーズ** **聞きたい 知りたい みんなの声** (14~15ページ)

# 8,894万8千円

## われしました。

### 一般会計



9月定例議会は、9月9日（火）から18日（木）までの10日間の会期で開催しました。

平成15年度補正予算4件、平成14年度昭和村一般会計及び特別会計決算認定、契約締結の議案2件、決議1件が上程され、原案のとおり可決されました。

また議会最終日の一般質問では、2名の議員が登壇し、質疑応答が交わされました。

平成14年度一般会計歳入は、総額40億2966万5千円で前年度比8・0%の減額です。

歳出は、総額37億8894万8千円で7・3%の減額となりました。

昭和村の財源は依然として自主財源に乏しく、収入の多くは地方交付税をはじめとする依存財源である状況です。そんな厳しい財政状況の中で事業の実施がはかられてきましたが、今後も福祉、教育及び産業の振興等、様々な分野で行政需要の充実に迫られることが予想されます。行政効果をふまえた各種事業の見直しと適正な財政秩序を堅持し、効率的な行政運営が求められます。

### 監査委員の 決算審査総括的意見

代表監査委員

松井源之助氏

監査委員

澤浦誉由氏

平成14年度における昭和村一般会計及び特別会計の予算執行の状況並びに財政運営状況について審査した結果、地方公共団体の財政運営の良否を判断する実質収支は各種事業を実施したにもかかわらず、各会計共に赤字である。これについては必要最小の経費で最大の



効果があがるよう、創意工夫がなされたのではないかと評価した。

また、公債比率11・5%、経常収支比率は91・1%となり、いまだに財政の硬直化が進んでいることが懸念されます。引き続き財政運営管理に鋭意努力されたい。

今後も行政効果をふまえた各種施策の選択と事業の見直しを行いながら、内容の充実と効率化に徹し、常に機構を点検し地方自治並びに地方財政法の精神に基づき、歳出は極力抑え、備蓄できるものは備蓄し、後年度の事業実施に充てるべき財源とすべきである。

(平成14年度決算審査意見書平成15年9月1日提出より)

# 平成14年度 決算認定

# 一般会計 歳出総額 37億

## はこう使



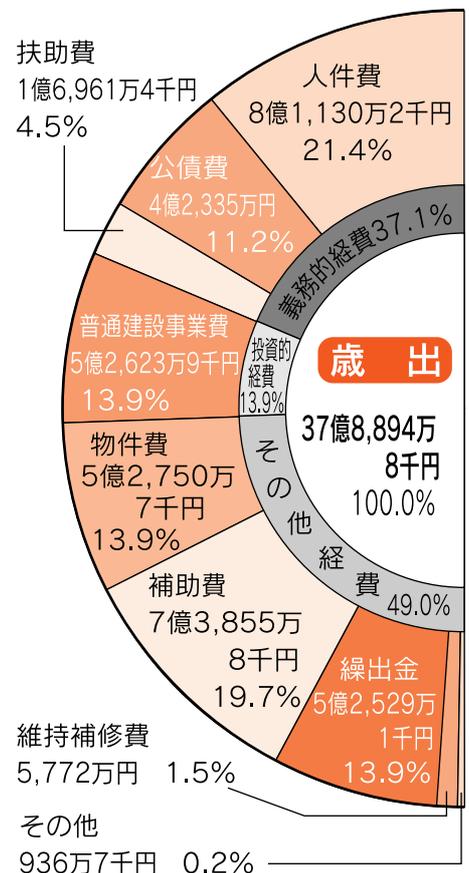
▲有害鳥獣防止用フェンス設置  
(中野地区)

▼介護予防拠点施設  
「元気の家」の建設



(第4分団詰所及びポンプ自動車)

◀ 第4分団・第8分団の消防  
ポンプ自動車購入及び第4  
分団詰所新築工事



## 特別会計

### 国保会計

歳入 8億1,117万6千円 前年比1.19%減  
歳出 7億8,391万6千円 前年比1.72%増

### 老人会計

歳入 9億2,130万円 前年比2.93%増  
歳出 8億8,256万9千円 前年比2.21%増

### 介護会計

歳入 4億4,267万4千円 前年比 9.85%増  
歳出 4億3,087万5千円 前年比12.98%増

### 簡水会計

歳入 3億7,111万4千円 前年比62.22%増  
歳出 3億5,268万8千円 前年比62.48%増

### 農集排会計

歳入 5億6,989万6千円 前年比14.7%減  
歳出 5億5,589万3千円 前年比14.6%減

## こういふことが 決まりました

### 消防小型動力ポンプ付 積載車を購入

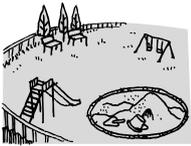
第10分団（生越）に装  
備する消防小型動力ポン  
プ付積載車購入のため、  
5社で指名競争入札が実  
施され、849万9千7  
50円で高崎市の温井自  
動車工業（株）が落札し  
ました。購入契約の締結  
について全員賛成で可決  
されました。

### 芝生公園整備工事

1億5千15万円で  
請負契約を締結

サッカーやグラウンドゴ  
ルフが可能な「スポーツ  
芝生広場」、展望砦やロ  
ーラーライダー等遊具  
のある「ふれあい広場」  
を整備するものです。  
8社による指名競争入

札の結果、沼田土建（株）  
が落札、1億5千15万  
円（遊具等の別途発注あ  
り）で工事請負契約の締  
結について全員賛成で可  
決されました。



## 一般会計補正予算

### 一般会計

公衆用トイレ設置など

5千522万7千円を増額

（全員賛成）

歳入・歳出それぞれ5千522万7千円  
を増額し、総額44億1千488万9千円に  
なりました。

主な内容としては、昭和村ゴルフ場付近  
に安全で快適なトイレの整備や総合行政ネ  
ットワークシステムを整備するものです。  
また、県営ふるさと農道緊急整備事業の本  
村を対象とした事業費の増額に伴い、舗装  
工事についても順次追加実施するもので、  
道路維持費の増額となっています。



▲平成14年度に設置された同じづくりのトイレ

### 9月定例会

#### 議会日程

9月9日（火）

本会議

全員協議会

9月10日（水）

全員協議会

9月11日（木）

総務常任委員会

9月12日（金）

民生文教常任委員会

9月13・14・15日

休会（土・日・月）

9月16日（火）

産業建設常任委員会

9月17日（水）

休会

9月18日（木）

本会議

## 特別会計補正予算

### 国保会計

100万5千円を増額

(全員賛成)

歳入・歳出の総額はそれぞれ8億5千735万9千円となりました。

主な内容は、前年度退職被保険者等療養給付費交付金の精算による償還金です。

### 介護保険会計

126万5千円を増額

(全員賛成)

歳入・歳出の総額はそれぞれ4億2千921万8千円となりました。

主な内容は、新たな介護保険計画の第2期がスタートした今年度、利根沼田地域が一体となり介護費適正化特別対策事業に取り組み、認定事務のチェック機能と被保険者が保険給付の状況を自ら把握できる体制を整備する事業を実施するものです。

### 農集排会計

741万8千円を増額

(全員賛成)

歳入・歳出の総額はそれぞれ4億9千123万5千円となりました。

主な内容は、戸別浄化槽基金の積立金の増額です。

### 昭和村議会広報編集特別委員会を設置

今までは、議会だより

編集委員会として活動

し、議会広報を発行して

議会の運営や活動の実態

を皆様にお知らせしてき

ました。

村民に対し開かれた議

会を確立し、議事公開・

広聴広報の原則に基づい

て、適切な情報を提供す

ることが得に必要であり

ます。

今後、議会広報を更に

発展させるため、自由に

取材活動や編集活動がで

きる様、特別委員会設置

の決議案を提出し、可決

されました。



## 臨時議会

平成15年7月23日午前10時より開催報告1件  
議案1件で原案どおり可決されました。

昭和の森有限会社の  
財政状況報告に  
ついて

平成14年4月17日から  
平成15年3月31日までの  
財政状況が左記のとおり  
報告されました。

売上収入

74,977,642円

雑収入

443,640円

収入合計

75,421,282円

販売費及び一般管理費

75,064,029円

法人税等充当額

156,400円

経費合計

75,220,429円

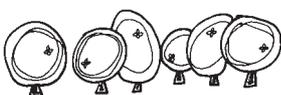
当期利益

200,853円

村民皆様のより一層の  
ご利用をお願い申し上げ  
ます。

平成15年度農業集  
落排水事業永井・  
入原地区汚水処理  
施設工事請負契約  
の締結について  
(全員賛成)

計画戸数241戸、処  
理対象人口は960人の  
施設であり、本年度工事  
での完成を予定してお  
り、7月22日、9社によ  
る指名競争入札を実施。  
日立金属・小野里・篠田  
建設特定建設工事共同企  
業体が71,400,0  
00円(消費税含む)で  
落札しました。



# 常任委員会のうごき

本委員会は、9月11日  
役場会議室で開催しまし  
た。

受けました。

請願陳情の審査では、  
利根沼田広域圏市町村合  
併に関する請願は趣旨採  
択、一般公開の条例制定  
については情報公開制定  
課職員より詳細な説明を

旨採択としました。

生越清水地区の防火用  
集積升整備と消火栓整備  
の陳情については、区長  
立ち会いのもとで、現地  
調査を行い、集積升につ  
いては採択し、消火栓に  
ついては、上下水道課よ  
り説明を受け、管路・水  
圧等に問題があるので調  
査の必要があるとのこと  
で、継続としました。

## 総務常任委員会



▲生越清水地区現地調査

またその他として、消  
防団の再編問題について  
は、村長より「審議委員  
会で検討してきました  
が、団員の意向を尊重し  
て結論を出したい。」と  
のことでした。今後の建  
設事業については、芝生  
公園スポーツ広場、千客  
万来トイレ（昭和の森コ  
ルフ場付近）などを今年  
中に着工することになり  
ました。

## 民生文教常任委員会

本委員会は9月12日、  
役場会議室で開催しまし  
た。

はじめに、持ち帰り審  
査となっていた平成14年  
度決算認定について、村  
長、関係課職員より説明  
を受け、その後、付託案  
件について審議を行いま  
した。

子育て保育園々舎拡張的  
建て替え費用並びに付属  
構築物器具等の全面的改  
修費用の支援要望につい

ては、9月9日開催の全  
員協議会の中でも検討  
し、子育て保育園の歴史は  
古く、今日までの実績ご  
苦労には、敬意を払うと  
ともに、本要望書につい

ては今後も継続して保育  
活動を続けたいと言う熱  
意の現れであり、陳情者  
の意図は充分にくみ取り  
たいとの立場で応分の負  
担を当局にお願いするこ  
とで、議会全員協議会、  
委員会を経て協議した結  
果、趣旨採択としました。

昭和中学校武道場（剣  
道場）整備に関する陳情  
については、つぶさに現  
地調査し、一日も早い整  
備が必要と全会一致で採  
択としました。

その後、現在建設中で  
ある昭和村第一保育園の  
モデルになった榛東村立  
南部保育園を視察し、建  
築経緯・動向等の説明を  
受けて大変参考になりま  
した。



▲榛東村立南部保育園を視察

# 産業建設常任委員会

本委員会は9月16日に  
役場会議室で開催しまし  
た。

説明者として村長、関  
係課職員の出席により付  
託された請願・陳情等の  
現地調査・審査を行い、  
平成14年度決算認定につ  
いて質疑・応答を行いま  
した。

県営倉渕ダム及び増田  
川ダムの建設計画の意見  
書採択に関する請願につ



▲鎌沢地区塔の前2号線

いては、県営事業である  
ことから、審議未了とし  
ました。

村道根岸3号線外二路  
線側溝布設替工事及び村  
道石坂1号線道路舗装工  
事のお願いについては、  
それぞれ住宅密集地であ  
り、雨水が宅地に流入し  
ている等、排水に困難し  
ている事が察せられる現  
状であり、また1号線付  
近は新興住宅地を呈して

おり、全会一致で採択と  
しました。中宿区村道  
の雨水対策についての要  
望は現地精査の結果全会  
一致で採択としました。  
鎌沢地区内村道弁財天  
1号線及び塔の前2号・  
3号線の舗装工事実施の  
陳情については、現地精  
査の結果、三路線とも土  
地改良事業で施工し、幅  
員は4メートルが確保出  
来る状態であることから  
全会一致で採択としまし  
た。



▲村道根岸3号線（根岸地区）



▲昭和中学校武道場（剣道場）

# 特別委員会のうごき

## 市町村合併問題

### 対策特別委員会から

#### 住民アンケートを尊重

8月8日(金)開催

利根沼田市町村任意合併協議会事務局から「新市将来構想案(概要版)」について説明があり、昭和村では村民を対象に8月11日(月)～8月21日(木)の間に6カ所で説明会が開催されることとなりました。



また、村独自の財政状況推計による地区説明会

9月5日(金)～9月19日(金)の期間に村内17カ所で行っていく方向となりました。

8月25日(月)開催

昭和村独自の財政状況推計が出され、その内容について総務課より説明を受けました。

これは、総務課長をリーダーとした役場職員で構成する「合併問題対策グループ」が検討・協議をした結果をまとめたもので、平成13年度の決算数値を基に現状の制度が続くものとして推計されています。9月5日から地区説明会の資料として、あらかじめ、各戸配布をしました。また、より多くの住民に参加してもらうため、区長さんにお願したり、オフトーク等により参加呼びかけ

を実施しました。

地区説明会終了後の合併についての最終的な判断について村当局と議会と協議をし、住民投票は時間的にも無理があるので再度、住民投票に準ずる「住民アンケート」を実施する方向となりました。

9月22日(月)開催

9月5日から行った9日間の地区説明会の住民の出席率は23・7%、世帯でみると約4分の1の方が出席との報告があり、次に、18歳以上の住民(6,517人)を対

象に行われた、「市町村合併に関するアンケート」の集計結果報告がされました。

回収総数6,256人、96%と高い回収率であり、利根沼田9市町村の広域合併について、賛成19・6%

反対60・6%

わからない18・8%  
1,176人

・白票・その他(1・0%) 62人  
という結果になりました。

村当局も議会としてもこの結果を尊重し、昭和村は利根沼田9市町村の法定合併協議会には「参加しない」方向としました。

また、同日、片品村で開催の第七回の任意合併協議会において昭和村は参加しない旨申し伝えました。

#### 昭和村は近隣

#### 自治体との合併

#### を目指して

9月30日(火)開催

村長から9月22日開催の任意合併協議会で、利根沼田9市町村の法定合併協議会に参加しないことを表明した昭和村を含む5村(片品・利根・川場・白沢)の首長会議の報告に基づき、今後の昭

和村の方向性について、議会として活発な論議がされ、「昭和村は広域市町村圏内の近隣自治体との合併を目指したい」という方向で満場一致で決定しました。

# 利根沼田市町村任意合併協議会の

## 経過報告

### 設立から解散まで

平成14年8月30日、利根沼田地域任意合併協議会設立準備会が開催され利根沼田9市町村が参加を表明。その後3回の準備会が開催されました。

そして第7回の協議会において、各市町村の意思表明の結果、平成15年9月30日解散することに決定しました。

**第1回**  
平成15年1月10日  
(沼田市保健センター  
多目的ホール)

出入り自由の利根沼田  
市町村任意合併協議会の  
設立総会が開催され、9  
市町村の首長が、規約に  
調印した。又、71名の委  
員の委嘱状が交付され  
た。昭和村においては、  
7名が当日委嘱を受け  
る。

1号委員

村長 加藤 秀光氏

2号委員

助役 高橋 僕八氏

3号委員

議長 吉野 藤彦氏

副議長 澤浦 誉由氏

4号委員

農業委員会会長

加藤 俊夫氏

商工会長

石井 敬治氏

若妻会長

倉沢つかさ氏

**第2回**  
平成15年3月26日  
(沼田市保健センター  
多目的ホール)

平成15年度の利根沼田  
市町村任意合併協議会事  
業計画と予算について、  
協議会申し合わせ事項の  
決定。

**第3回**  
平成15年5月23日  
(白沢村役場)

新市将来構想案策定に  
係る住民意識調査の実施  
結果の報告あり。

(利根沼田地域に住む  
18歳以上の5%にあたる  
5,000人の方を無作  
為に抽出し、郵送により  
配布したもので、日常生  
活圏や生活環境、また市  
町村合併の関心の有無  
等、数項目のアンケート  
調査)

**第4回**  
平成15年6月24日  
(月夜野町農村環境改  
善センター)

利根沼田市町村任意合  
併協議会による「新市将  
来構想案」について協議。

**第5回**  
平成15年7月24日  
(利根村役場)

新市将来構想案につい

て委員会別(4・5号委  
員、1・2・3号委員、  
正副会長による会議)に  
開催した報告がされる。

また、同案について各  
市町村の住民を対象に  
「利根沼田の市町村合併  
を考える住民説明会」開  
催についての説明があ  
り、確認された。

**第6回**  
平成15年8月28日  
(水上町観光会館)

「利根沼田の市町村合  
併を考える住民説明会」  
(協議会事務局職員が各  
市町村に出向いて説明)  
の実施後の結果をふま  
え、各市町村長から、市  
町村ごとの取り組み状況  
と進め方について報告。

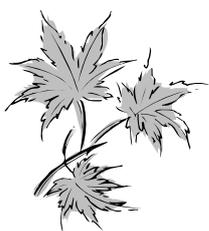
又、次回、第7回協議  
会において、各市町村が  
法定合併協議会へ参加、  
不参加の意思表明をする  
ことを確認された。

**第7回**  
平成15年9月22日  
(片品村役場)

各市町村長が利根沼田  
市町村法定合併協議会意  
思表明。4市町村が参加  
昭和村を含む5村が不参  
加。

参加表明(4市町村)  
沼田市、月夜野町、水上  
町、新治村  
不参加表明(5村)  
白沢村、利根村、片品村、  
川場村、昭和村

5村の不参加表明によ  
り、利根沼田任意合併協  
議会は、残務処理を行っ  
た後、平成15年9月30日  
をもって、解散すること  
に決定された。



# 姿勢を問う！



橋幸一郎議員

NPQJUNSHU

(民間非営利団体)

**Q** 厳しい財政状況下

で、少子高齢化社会の進展や分権型社会の要請などに対応して、昭和村においても合併問題の中で、如何に村職員と地域社会が補い合って行政を運営する仕組みを作り上げる事が重要な事と考える。すでに村内でも、「清流を守る会」「介護支援の会」「教育を考える会」等、諸団体がそれぞれ独自の活動を通して村の自然・福祉・文化などに貢献して頂いているが、NPQ (民間非営利団体) に対する村長の考えは。

**A** 村 長

群馬県内において、9月4日現在、259団体、村内においても9月9日付けで1団体が認証を受けており、そのほか幾つかの団体からの事務手続きについて県へ照会している動きも聞いており、これらの団体の具体的な活動を精査し、職員と地域社会が行政運営を補い合う仕組みづくりの中で行政事務の委託先としてもNPQ法人がひとつの団体として、今以上に察知しながら行政運営を進めていかなければならないと考えております。

ISOJUNSHU

(国際標準化機構)

ISOの行政  
導入及び資格  
取得希望に  
対する支援と  
指導者の斡旋を

**Q** 昭和村でもISO

(国際標準化機構)を資格取得することにより新たなビジネスチャンスが生まれ、事業拡大や売り上げ増、並びに新たな企業の創設が図られ、地域産業の活性化に繋がることは間違いないと考えている。

そこで一つ、昭和村としてISOを取得する考えはあるのか。

二つ、ISOを取得する企業に対する支援は考えているか。

三つ、ISO取得に対する指導者の斡旋についてどのように考えているか。

このことは、目に見えるものではないが、村の資質を向上させ、訪れる人も多くなり、生産物も付加価値が付き、昭和村を活性化させる方策になることは間違いないと考えている。

村の将来に村長の夢のある返答を求める。



▲清流を守る会の皆さん

**A** 村 長

ISO取得の支援策について、全国的にみるとISO支援制度として、助成金20万から130万と幅広く、融資の金利としては年利1・5%から1・8%と低金利としている自治体が数団体あります。群馬県でも過去にはISO支援制度を創設した経緯がありましたが現在は廃止されており、コンサル等の相談及び指導に依っていると認めます。

今後、県をはじめ、他市町村の動向を見ながら関係機関と協議を図りながら検討していきたい。

# 一般質問 ～9月定例会～

# 村の



林 幸司議員

## 村民プールは

**Q** 昭和中及び、利根沼田の公営プールの現状は、村営プールを整備する考えはあるのか。夏休みだけでも昭和中プールの村民開放はできないか。

**A** 教育 長

沼田市・月夜野町・新治村・利根村が設置していますが、村民プール設置については検討したい。村民開放は可能だが、希望がどの程度あるのかなど、学校側とも相談し検討していきたい。

## 大震災対策を

**Q** 関東大震災から80周年、震災はいつ起きても不思議ではない。阪神淡路大震災の死者の8割が耐震性の無い住宅の倒壊

によるものであり、耐震改修促進法が整備された。震災対策の第一は住民の生命を守ること、住宅の耐震診断・耐震改修をすすめる必要があるのでは。

**A** 村 長

昭和村地域防災計画・震災対策計画書に基づき、村民の生命・財産を保護するため鋭意努力している。関係機関の指導助言を仰ぎながら、村として必要な対策を講じていきたい。

## 日本一のコンニャク産地を守れ

**Q** WTO新ラウンドで農産物のさらなる自由化が協議されていますが、開発輸入で大商社・多国籍企業だけが利益を得

## WTO新ラウンド コンニャクの関税引き下げ阻止

て、多くの国の農林水産業は被害を受けるだけ。コンニャクの関税が引き下げられれば「養蚕の二の舞」になりかねません。日本一産地の村として、政府が関税引き下げ断固反対を貫くよう最大限のアクションを起こすべきでは。

**A** 村 長

昨年10月、コンニャクの特別セーフガード及び関税水準の維持、調整品や携帯品輸入への課税強化等について、県内産地を代表し、昭和村・子持村・吾妻町の3町村長で県内選出国会議員と農水省に陳情し、訴えてきました。その結果、今年4月から携帯品簡易課税の対象外として99.0%相当の課税が実現し、効果は多大であったと考えています。引き続き、WTOで交

## 生活安全対策は

**Q** 住宅が「陸の孤島」にされてしまうような私道への建築許可は違法ではないか。生活の安全を守るため、私道の変更に廃止を禁止・制限できる村条例の制定を求め

**A** 村 長

建築確認申請は、村ではなく県が行っています。隣接者の同意書は必要ありません。都市計画区域外の本村で、私道の廃止は関係者同士の話し合いしか解決策はないものと思われま。今後、県とも協議し建築基準法に基づいた条例制定を視野に入れ検討したい。

## 三位一体の改革 はまゆつばもの

**Q** 福祉や教育に関わる国庫補助負担金の廃止と地方交付税の縮小先において、国から地方への税源移譲は8割程度、しかも将来の増税とセットというのでは賛成できない。

**A** 村 長

地方財源確保は必要、国の方針を見据えて判断していきたい。

## 広域合併反対を 明確にせよ

**Q** 村民多数が反対している広域合併について村長としてのハッキリした意志表明を。

**A** 村 長

将来を決めるのは主人公である住民であり、住民の答えを参考にしてから私の考えを述べたい。

# 全員協議会から

8月19日開催

## 昭和の森ゴルフ場・

### 山荘の決算報告

平成14年度の昭和の森(有)の決算報告書及び営業状況報告書の内容について村長、担当課より説明を受けた。

利用状況について、ゴルフ場利用客は14,549人、山荘利用客は2,350人であった。ゴルフ場については土日の利用

予約がいっぱいなのでいかに、今後、平日利用者を増やすかであるが、15,000人が上限と思われるので、山荘利用客4,000人を目標に利用客の増により増収を図らなければならないだろう。

## 昭和村村営住宅の答申について

昭和村村営住宅審議会から昭和村村営住宅に関する答申が出され内容について村長、担当課職員により説明があった。

建設費等考ええると、財政を圧迫しかねないので民間で建設したものを村で一括して借り上げ、入

居希望者に転貸するというPFI方式を採用するものとするが、またたくのPFI方式ではなく、良い部分を採用していく昭和村方式の村営住宅にしていきたい旨の説明がされた。

## その他のうごき



白沢村議会と

### 白沢村議会 (7月31日)

### 川場村議会 (8月8日)

### 意見交換会

両日とも昭和の森ゴルフ場内の会議室において、各村、議会議員参加により合併問題について話し合いを行いました。



川場村議会と

合併の必要性や問題点について多くの意見が出され、今後の合併問題の解決に向けて意義ある意見交換会となりました。

## 利根沼田市町村合併フォーラム

8月9日開催

利根沼田市町村任意合併協議会によるフォーラムが利根沼田文化会館で開催され、参加しました。

新市将来構想案等の概要説明について、「市町村合併について—南アルプス市誕

生」と題して、南アルプス市長、石川豊氏の講演会や、「ともに考えよう利根沼田の将来」と題して、パネルディスカッションが行われました。

総じて合併に向けての勉強会でありました。

## 市町村合併講演会

9月3日開催

群馬県立女子大講堂において「市町村合併の現場から—本音と建前のはざ間の中で」と題して、元旧与野市政策企画部長、田中義政氏の講演会が行われ参加しました。

奇跡の大合併と言われる

100万都市「さいたま市」が誕生するまでの7年間の経過や多くの問題点の解決に向けて、苦労等々、合併の必要性とむずかしさを合併実務の経験者としての講演を聞きました。

## 第41回利根郡民体育大会

9月23日〜10月12日開催

### 昭和村が

### 「総合優勝！」



今大会は昭和村が主会場として開催されました。

昭和村は第一回大会以来2度目の総合優勝となりました。

各種目の選手の皆さん、大会関係者の方々、大変おつかれ様でした。



## みなさんからの請願・陳情



自 平成14年11月8日 至 平成15年9月3日

受理番号	受理年月日	件名	陳情者の住所・氏名	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
7	H14.11.8	利根沼田広域圏市町村合併に関する請願	利根沼田大運動実行委員会 代表委員 木村朝次郎	林 幸司	総務	趣旨採択
35	H15.5.14	子育て保育園々舎の拡張的建て替え費用並びに付属構築物器具等の全面的改修費用の全面的支援(補助)要望書	社会福祉法人子育て会 理事長 中村 一雄 ほか7名		民文	趣旨採択
36	H15.5.21	一般公開の条例制定について	昭和村大字糸井 角田 茂	小野 一男	総務	趣旨採択
44	H15.5.27	県営倉渕ダムおよび増田川ダムの建設計画の抜本の見直しを求める意見書採択に関する請願	前橋市駒形町951-56 滝沢 俊治 ほか1名	林 幸司	産建	審議未了
45	H15.6.28	義務教育費国庫負担制度の現行水準の維持に関する意見書の提出についての陳情	群馬県教職員組合 執行委員長 磯 奉一		民文	趣旨採択
46	H15.8.18	村道根岸3号線外2路線側溝布設替工事及び村道石坂1号線道路舗装工事のお願いについて	川額区長 関上 昭一 ほか4名	竹之内 章	産建	採 択
47	H15.8.18	生越清水地区内の消火栓整備等を求める陳情書	生越区長 林 正行 ほか1名		総務	継 続
48	H15.8.25	昭和中学校武道場(剣道場)整備に関する陳情書	昭和村剣道連盟 会 長 渡辺 健一郎	石井 清司 橋幸一郎	民文	採 択
49	H15.8.29	生越清水地区内の集積升整備を求める陳情書	生越区長 林 正行 ほか1名	林 幸司	総務	採 択
50	H15.9.1	中宿区村道の雨水対策についての要望書	中宿区長 加藤 和美	金子松二郎	産建	採 択
51	H15.9.1	鎌沢地区内村道辨財天1号線及び塔の前2号・3号線の舗装工事実施の陳情	鎌沢区長 布施 廣一 ほか5名	澤浦 豊由 保坂 初次	産建	採 択
52	H15.9.3	30人以下学級、複式学級の解消、少人数学習などの実現が可能となる教職員定数配置の改善を求める意見書の提出についての陳情	群馬県教職員組合 執行委員長 磯 奉一		民文	趣旨採択



昭和村農業委員会々長

加藤 俊 夫さん  
(吹張 61歳)

## 光陰矢の如し

光陰矢の如しと申しませんが、月日の経つのは早いものです。私も農業委員を持つてから早いもので六年が過ぎようとしています。農業委員会は、農業の振興と発展という大きな使命があります。私達委員会も農業後継者の育成、農地の問題等に向き合つて議論している所でありませう。今年、一番印象に残つた事は、利根沼田市町村任意合併協議会の委員として第一回協議会沼田市福祉センター会場から第七回片品会場まで、七回会議を持ち討議された中で、市町村の首長さんを初め議長さん委員さんの努力と苦勞が目の当たりにして、わ

た圃場整備のもとでこれからの若い青年達がこの地域で大きく農業に夢を抱きしつかりとした、この農業基盤を活かし、自信の持てる農業が出来る事と思ひます。

私達農業委員会も皆様と共に、これからも地域の振興と発展に努力していきたいと思ひますので、村民皆様の協力をお願いしたいと思ひます。



## 農地は貴重な財産



昭和村農業委員会副会長

諸田 久さん  
(永井上 59歳)

いつも大変お世話様になつております。

先日、ヘリコプターに

農地があるのは、県内でも我が昭和村だけと確信しました。

乗る機会を得まして総合グラウンド駐車場より大規模農道沿いを南に向かい昭和の森ゴルフ場周辺から関越道上を北へ生越、大河南地区等を経由し昭和村を一望してきましたが、なんとと言っても広大な農地は構造改善事業で畑の形状は大きくなり、農業機械での作業がやりやすくなつており道路も整備拡張されて機械化農業も大型化していくのは当然の事と実感しました。特産物のコンニャクは青色高原野菜は緑色に輝きとても素晴らしい風景を眼下に見てこんな立派な

「農地は貴重な財産です」大切に守つて、有効に活用して頂きたいと思ひます。





農業委員  
和南城 時子さん  
(吹張 62歳)

## 農業委員に成って

日頃地域のみな様には大変お世話様に成っております。

私達議会推薦の、三人の委員も、任期を迎える事ができます。

最初は、右も左もわからない事だらけでしたが、何ヶ月か過ぎ少しずつ会議の内容も解るようになって、難しい議題の時など、みんなで討論しても仲々結論が出ない時など先輩の委員さんが、最後に適切に決めて下さる事が多かったのです。そんな時は、流石がだなと感じました。

そして、一年目が終わる頃、家族経営協定を、みんなで進めようと言う事になり、一人一組を、目標にと決まりました。私も、先ずは地域の中で後継者の居る家族と考えて、何軒か、説明に廻りましたが、「まだ農業を本

気でやるか解らない」

「次回にして下さい」と

言われたりもしました。

でも話を聞いて直ぐ協定

を結んでも良いと言つて

下さった家も有り、一年

目は、二軒、二年目は一

軒結んで下さつて、ある

家では「おかげで家の中

が明るくなった」と言っ

て下さつた、姑さんも有

りました。他の家の若夫

婦には、休みの時子ども

と一緒に遊びにも、気を

使わずに出かけられると

喜んで話してくれました。

最後に成りますが、始

めて女性委員が入り何か

とやりずらい事も有つた

事と思ひますが、此から

も、農業後継者が、夢や

希望を持てる農業を考え

る事も、農業委員には必

要かと思ひました。

本当にありがとうございます。



農業委員  
大竹 朝子さん  
(追分 55歳)

## 農業委員活動の中で

今から四十五年前、一

九五八年十一月一日。糸

之瀬村と久呂保村が合併

し、あと数年で半世紀を

迎えます。当時は土地の

流動は少なかつたと思

いますが、今現在は少子高

齢化になり、農業は続け

たいが、やむなく農地を

手放す人もおり、純農村

の昭和村としては残念で

す。また、農業委員も平

成十二年十二月より女性

の参画という事で、私

達三名が加わり、計二十

六名です。農業委員活動

として、家族経営協定を

推進しています。

経営協定とは、仕事の

役割分担及び労働の従事

状況等勘案し農業収益の

配分、経営計画を協定者

の合意の上で定めるもの

です。また、経営の移譲

をいつ頃にしたらよいか

具体的書類に記しま

## 女性農業委員として

平成十二年十二月十四

日に昭和村農業委員会選

任証書の交付を受け農業

委員となり、早三年が過

ぎようとしています。

農業委員そのものは、あ

る程度承知しておりまし

たが、実際仕事の内容に

ついてはわかりませんで

した。初めての委員会

の説明、そして各種の資

料を頂き家で見ますと、

その中に農地六法集があ

り農業委員は何の仕事

するのかも法律にきちつ

と書れており、読んで見

ると、正直言つてそれは

大変な内容であり、責任

の重さを認識しました。

今任期の三年間を振り返

りますと、月一回の委員

会と県や郡の研修会にも

出席し大変勉強になりま

した。また、農業委員の



農業委員  
関上 光子さん  
(森下 52歳)

任務でもある家族経営協

定については、全員で取

り組んだ結果、多くの協

定が結ばれ、現在では利

根、沼田地域で一番多く

の協定数となりその事が

印象に残つております。

この三年間村当局を始め

委員の皆様にご指導を頂

き、無事終了できる事を

心より御礼を申し上げます。

今後、女性農業委員も

続いて選任されて行く

と思いますが、昭和村の農

業に女性も頑張つており

ますので、これからも女

性の視点を、ぜひ委員会

に活かして、後継者が育

ち、県下に誇れる農業村

になれますよう、お願い

したいと思います。

三年間、本当にありがと

うございました。

# 議会を傍聴して



村づくり協力委員  
林 文子さん  
(生越 46歳)

現在私は、村づくり協力委員として、活動しています。

そこで、今回活動の一端として、議会を傍聴させていただきました。

村民の生活に関わる幅広い諸課題の解決に向けて、村長さん議員さんをはじめ、村行政の要職の方、財政運営についてき

びしい社会経済情勢のなか、事業の見直しや経費の節減、合理化に努めるなど、限りある財源の有効活用を図り、同時に昭和村の知名度が益々高まるような農村形態を、村民の意見を取り入れて考えることが大事だと思



ます。それに、若い人達が進んで村に定着できるような施設や制度など是非、実現してほしいものです。

村政を理解する上でより多くの方に傍聴していただくことが、明るい村づくりには大切だと思います。

## 議会のうごき

### 7 月

- 8日 議会だより編集委員会
- 16日 新議員研修会
- 29日 中学生海外派遣壮行会
- 30日 総合運動公園下草刈り  
農業委員との意見交換会
- 31日 議会全員協議会  
白沢村議会との意見交換会

### 8 月

- 8日 市町村合併問題対策特別委員会  
川場村議会との意見交換会
- 9日 利根沼田市町村合併フォーラム
- 19日 議会全員協議会  
還暦野球チームとの交流試合
- 25日 市町村合併問題対策特別委員会
- 28日 昭和村ゲートボール大会

### 9 月

- 3日 市町村合併講演会
- 4日 議会全員協議会  
議会運営委員会
- 7日 壮年ソフトボール大会
- 9日 9月定例会
- 18日
- 13日 東小学校秋季大運動会  
南小学校 〃  
大河原小学校 〃
- 20日 昭和中学校 〃
- 22日 市町村合併問題対策特別委員会
- 25日 第1保育園運動会
- 26日 第2保育園運動会  
議会全員協議会
- 27日 子育て保育園運動会
- 28日 第36回村民運動会
- 30日 市町村合併問題対策特別委員会

### 元群馬県議会議長

## 林 辰 衛 氏 逝 く



本村はもとより、県及び全国に功績を挙げられた、林辰衛氏が10月4日に永眠されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



### 編纂室から

体育の秋、郡民体育大会弓道競技に参加をさせていただき、茶道の「一期一会」の精神の中で静寂かつ、緊迫した戦いに感動いたしました。一射への集中力で見事、栄冠を勝ち得た本村の選手の皆様さんに賛辞を送りたいと思います。

本年、主会場で「総合優勝」という大業を成し遂げた昭和村の体育行政に関わる皆様方の平素の努力に対して深く敬服いたします。

昭和インター周辺の開発・農業観光の推進・村民憩の森(仮称)整備・昭和リゾート跡地利用等、合併問題の不透明な中、課題が山積みになされていますが、議会一丸となって取り組む事の必要性を感じる昨今です。

幸一郎記

とじておくと便利です